

## 週報

## 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 28年												平成 29年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日	5月 ~28日	6月 ~4日	6月 ~11日	6月 ~18日	6月 ~25日	7月 ~2日	7月 ~9日	7月 ~16日	7月 ~23日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	122	9	30	19	25	24	34	31	29	24	26	43 (45)	20
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	113	6	7	37	14	27	60	26	22	30	53	22 (39)	38
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	11	2	2	3	3	4	2	3	4	3	2	5 (6)	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	15	2	5	1	1	8	0	9	4	7	6	1 (6)	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	17	5	4	3	3	5	3	11	4	6	10	4 (5)	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	3	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	2
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	6	0	1	3	2	1	0	2	0	0	1	0	0
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	6	0	2	7	2	4	2	1	6	2	4	1	1

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

\* その他の2件は、それぞれ、アエロモナス、プレジオモナスでした。

### 広島県感染症発生動向週報

平成29年第29週(7月17日~7月23日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10		2	1		3	1	3
三類	0	発生なし	0							
四類	2	ボツリヌス症	1							1
		レジオネラ症	1			1				
五類全数	5	アメーバ赤痢	1	1						
		梅毒	4	1				2	1	

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
 東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
 西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町  
 北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第29週 7/17~7/23)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 手足口病

定点当たり8.17人の報告があり、多い状況が続いています。手足口病は数年おきに比較的大きな流行となる傾向にあり、今年は2015年以来の流行となっています。

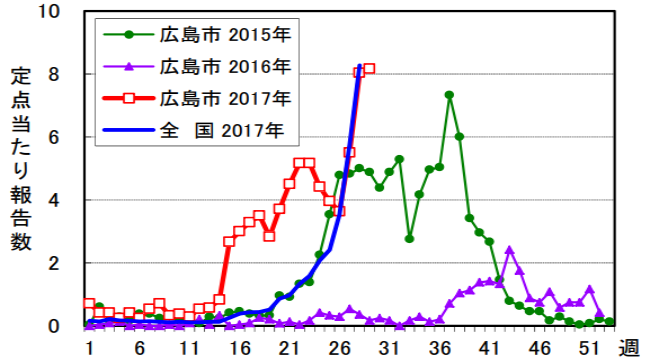
2. ヘルパンギーナ

定点当たり0.83人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。

手足口病やヘルパンギーナは、乳幼児を中心に夏季に流行する感染症です。

これらの感染症は、回復して症状がなくなっても2~4週間程度は便中にウイルスが排泄されますので、手洗いの励行、オムツの適切な処理を心がけるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

手足口病の流行状況



3. 梅毒

2件の報告があり、今年の累計は34件となりました。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	増減	
												急増減	増減
小児科	インフルエンザ	1	0.03	0.01		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.80		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	咽頭結膜熱	14	0.58	0.93		眼科	RSウイルス感染症	9	0.38	0.12		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	2.63	1.47	↔	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.10		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	110	4.58	4.06	↔	眼科	流行性角結膜炎	8	1.00	0.93		横ばい	ほとんど増減なし
	水痘	8	0.33	0.61		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	
	手足口病	196	8.17	3.48	→	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.09		インフルエンザ定点数(小児科定点を含む) 37	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.19		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.32		小児科定点数 24	
	突発性発しん	4	0.17	0.43		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		眼科定点数 8	
	百日咳	4	0.17	0.07		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		基幹定点数 7	
	ヘルパンギーナ	20	0.83	2.77	↔							(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)	

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	85	男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
5	梅毒	2	34	男性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	細気管支炎	0	女	2017/06/12	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 鼻炎	0	男	2017/06/14	鼻汁	ライノウイルス
その他の消化器疾患	腹痛	3	男	2017/06/14	糞便	アデノウイルス2型
その他の消化器疾患	発熱(38.6) 腹痛	0	男	2017/06/15	糞便	アデノウイルス1型
その他の疾患	発熱(38.3)	0	女	2017/06/11	咽頭拭い液	パインフルエンザウイルス3型
その他の疾患	発熱(38.2)	0	男	2017/06/13	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載